

2026年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名	株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション	上場取引所	東
コード番号	2769	URL	https://www.village-v.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	白川 篤典
問合せ先責任者	(役職名) 管理本部長	(氏名)	矢頭 秀太
定時株主総会開催予定日	2026年8月26日	配当支払開始予定日	—
有価証券報告書提出予定日	2026年8月27日		
決算補足説明資料作成の有無	有		
決算説明会開催の有無	無		

（百万円未満切捨て）

1. 2026年5月期の連結業績（2025年6月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	23,353	△6.4	919	—	858	—	736	—
2025年5月期	24,962	0.7	△935	—	△995	—	△4,247	—

（注）包括利益 2026年5月期 717百万円（-%） 2025年5月期 △4,226百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	78.61	73.41	33.2	4.7	3.9
2025年5月期	△556.98	—	△105.3	△4.9	△3.7

（参考）持分法投資損益 2026年5月期 -百万円 2025年5月期 -百万円

（注）2025年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2026年5月期	18,927	106,833	2,589	106,833	13.6	106.83	106.83	
2025年5月期	17,399	30,683	1,872	30,683	10.7	30.68	30.68	

（参考）自己資本 2026年5月期 2,577百万円 2025年5月期 1,860百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	2,044	△260	1,000	4,868
2025年5月期	494	△272	△446	2,086

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年5月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2027年5月期の連結業績予想（2026年6月1日～2027年5月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,881	△6.3	504	△45.1	319	△62.8	126	△82.8	0.84

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年5月期	7,861,700株	2025年5月期	7,861,700株
2026年5月期	19,901株	2025年5月期	19,901株
2026年5月期	7,841,799株	2025年5月期	7,842,252株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料2ページ「（4）今後の見通し」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年5月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注） A種優先株式の発行数は1,500株であります。2026年5月期期末配当金は、分配可能額を有しないため配当いたしません、累積条項に従い、次期（2027年5月期）以降に累積いたします。累積総額は、2026年5月31日時点で240百万円です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
(5) 継続企業の前提に関する重要事項	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年6月1日～2026年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復することが期待されますが、日々移り変わる中東情勢や米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、継続的な物価上昇が個人消費に及ぼす影響に留意する必要があります、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、物価上昇を背景とした食品や生活必需品の値上げが続いており、消費者の節約・選品志向を強め、業種・業態の垣根を越えた競争の激化、人件費や各種コストの上昇など、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

このような状況の下、当社グループは、いままで世の中になかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けるという理念のもと、店舗事業・POPUP事業・EC事業の3つの事業を柱とし、スタッフ一人一人の個性を融合し、お客様の知的好奇心に寄り添うヴィレッジヴァンガードらしい売場や企画の展開を通じて、事業価値の創出・向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、23,353百万円と前連結会計年度と比べ1,608百万円の減収（6.4%減）となりましたが、売上総利益率が伸長し、売上総利益は、10,436百万円と前連結会計年度と比べ1,074百万円の増益（11.5%増）となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組み、営業利益は919百万円（前連結会計年度は935百万円の営業損失）、経常利益は858百万円（前連結会計年度は995百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は736百万円（前連結会計年度は4,247百万円の純損失）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.3%増加し、16,986百万円となりました。これは、現金及び預金が2,782百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、1,941百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）が28百万円、ソフトウェアが21百万円、差入保証金が124百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、18,927百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.5%増加し、10,172百万円となりました。これは、買掛金が342百万円、1年内返済予定の長期借入金が2,472百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて20.2%減少し、6,165百万円となりました。これは、長期借入金が2,477百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、16,338百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて716百万円増加し、2,589百万円となりました。これは、利益剰余金が736百万円増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,782百万円増加し、当連結会計年度末には4,868百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は2,044百万円（前連結会計年度は494百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前当期純利益787百万円に対して、収入の主な内訳は棚卸資産の減少額1,092百万円、また仕入債務の増加額342百万円であり、支出の主な内訳は利息の支払額201百万円であったためであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は260百万円（前連結会計年度は272百万円の支出）となりました。これは、主に差入保証金の回収による収入が68百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出77百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円があったためであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は1,000百万円（前連結会計年度は446百万円の支出）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行による収入1,000百万円があったためであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復することが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、継続的な物価上昇が個人消費に及ぼす影響に留意する必要があります。依然として先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

当社グループは、以下の3つの事業目標を柱として、スタッフ一人一人の個性を融合し、お客様の知的好奇心に寄り添うヴィレッジヴァンガードらしい売り場や企画の展開を通じて企業価値の向上に取り組んでまいります。

①店舗事業の強化及び収益拡大

②POPUP事業の強化及び収益拡大

③EC事業の強化及び収益拡大

また、各事業の売上構成比の変化により、高収益体制を目指してまいります。

以上により、2027年5月期の業績見通しにつきましては、売上高21,881百万円（前期比6.3%減）、営業利益504百万円（前期比45.1%減）、経常利益319百万円（前期比62.8%減）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事項

当社グループは、前連結会計年度において営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことにより、金融機関と締結した金銭消費貸借契約における財務制限条項に抵触いたしました。

当連結会計年度においては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計上したものの、純資産割合が当該財務制限条項に前期に引き続き抵触しております。そのため債権者である金融機関から期限の利益の喪失を請求された場合には、一括返済義務が生じるなど当社の資金繰りに影響が生じ、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当連結会計年度においては、当社グループにおける収益力向上に向けた各種施策の実施に加え、人員配置の見直しや業務効率化等による本社コスト削減を推進した結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計上し、収益基盤の改善が着実に進展しております。

また、当連結会計年度において第三者割当による新株予約権及び無担保転換社債型新株予約権付社債の発行により資金調達を実施し、財務基盤の強化及び資金繰りの安定化を図っております。

さらに、取引金融機関からは当面の資金繰りに必要な支援継続について理解を得ており、資金繰り計画に基づき必要な運転資金を確保できる見込みであります。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況は存在するものの、収益基盤の改善、資金調達による財務基盤の強化及び金融機関からの支援継続により、必要な資金を確保できる見込みであることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,086	4,868
売掛金	1,721	1,702
商品	11,335	10,246
その他	121	171
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	15,261	16,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	600	572
その他（純額）	55	41
有形固定資産合計	655	614
無形固定資産		
ソフトウェア	140	119
ソフトウェア仮勘定	34	27
その他	1	1
無形固定資産合計	175	148
投資その他の資産		
長期前払費用	25	23
差入保証金	1,274	1,149
その他	6	5
投資その他の資産合計	1,306	1,178
固定資産合計	2,137	1,941
資産合計	17,399	18,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,709	3,052
短期借入金	375	448
1年内償還予定の社債	62	62
1年内返済予定の長期借入金	2,751	5,223
未払金	326	405
未払法人税等	71	64
未払消費税等	279	143
契約負債	130	81
株主優待引当金	29	25
賞与引当金	33	35
資産除去債務	477	139
その他	551	491
流動負債合計	7,796	10,172
固定負債		
社債	144	82
転換社債型新株予約権付社債	-	1,000
長期借入金	6,181	3,704
役員退職慰労引当金	450	459
退職給付に係る負債	124	106
資産除去債務	807	795
その他	21	17
固定負債合計	7,729	6,165
負債合計	15,526	16,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,330	2,330
資本剰余金	3,807	3,807
利益剰余金	△4,249	△3,512
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,889	2,625
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	△33	△51
その他の包括利益累計額合計	△28	△47
新株予約権	12	11
純資産合計	1,872	2,589
負債純資産合計	17,399	18,927

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	24,962	23,353
売上原価	15,599	12,917
売上総利益	9,362	10,436
販売費及び一般管理費	10,298	9,517
営業利益又は営業損失(△)	△935	919
営業外収益		
仕入割引	27	20
業務受託料	68	52
違約金収入	43	39
その他	58	40
営業外収益合計	197	153
営業外費用		
支払利息	180	198
営業外支払手数料	44	4
その他	32	12
営業外費用合計	257	214
経常利益又は経常損失(△)	△995	858
特別利益		
新株予約権戻入益	3	7
特別利益合計	3	7
特別損失		
棚卸資産評価損	2,472	-
固定資産除却損	35	3
減損損失	674	40
退店補償金	-	32
その他	24	2
特別損失合計	3,206	78
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△4,198	787
法人税、住民税及び事業税	53	50
法人税等調整額	△3	0
法人税等合計	49	51
当期純利益又は当期純損失(△)	△4,247	736
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,247	736

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△4,247	736
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	5	△0
為替換算調整勘定	16	△18
その他の包括利益合計	21	△19
包括利益	△4,226	717
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,226	717

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,330	3,807	118	△0	6,257
当期変動額					
剰余金の配当			△120		△120
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△4,247		△4,247
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	△4,367	-	△4,367
当期末残高	2,330	3,807	△4,249	△0	1,889

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1	△49	△50	15	6,222
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△4,247
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	5	16	21	△3	18
当期変動額合計	5	16	21	△3	△4,349
当期末残高	4	△33	△28	12	1,872

当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,330	3,807	△4,249	△0	1,889
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益			736		736
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	736	-	736
当期末残高	2,330	3,807	△3,512	△0	2,625

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4	△33	△28	12	1,872
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					736
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△0	△18	△19	△0	△19
当期変動額合計	△0	△18	△19	△0	716
当期末残高	3	△51	△47	11	2,589

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△4,198	787
減価償却費	215	148
固定資産除却損	35	3
減損損失	674	40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20	△18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	1
株主優待引当金の増減額(△は減少)	4	△3
受取利息及び受取配当金	△1	△5
支払利息	180	198
営業外支払手数料	44	4
売上債権の増減額(△は増加)	△201	155
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,540	1,092
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,438	342
未払消費税等の増減額(△は減少)	404	△145
その他	458	△297
小計	700	2,312
利息及び配当金の受取額	1	5
利息の支払額	△176	△201
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△31	△72
営業活動によるキャッシュ・フロー	494	2,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△129	△77
無形固定資産の取得による支出	△34	△34
差入保証金の差入による支出	△38	△6
差入保証金の回収による収入	44	68
資産除去債務の履行による支出	△103	△202
その他	△11	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,910	112
短期借入金の返済による支出	△4,696	△45
長期借入れによる収入	2,290	57
長期借入金の返済による支出	△2,546	△62
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	1,000
社債の償還による支出	△212	△62
営業外支払手数料の支出	△44	△3
割賦債務の返済による支出	△28	△2
配当金の支払額	△120	—
新株予約権の発行による収入	—	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446	1,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△220	2,782
現金及び現金同等物の期首残高	2,306	2,086
現金及び現金同等物の期末残高	2,086	4,868

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

1. 製品サービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

1. 製品サービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	30円68銭	106円83銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△556円98銭	78円61銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	73円41銭

(注) 1. 2025年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△4,247	736
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	120	120
(うち優先配当額 (百万円))	(120)	(120)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	△4,367	616
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,842,252	7,841,799
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	2,189,521
(うち新株予約権 (株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新株予約権3種類 (新株予約権の数350個) ・A種優先株式 (行使価額修正条項付新株予 約権付社債券等) 1,500株 	<ul style="list-style-type: none"> ・新株予約権3種類 (新株予約権の数17,541個)

(重要な後発事象の注記)
該当事項はありません。